

清里小学校 総合的な学習の時間の中で、 高齢者疑似体験・車椅子体験が実施されました

令和5年2月7日（火）・9日（木）清里小学校体育館において、「総合的な学習の時間」の授業で「高齢者疑似体験・車椅子体験」が実施されました。

高齢者疑似体験では、関節の動きを制限するサポーターや手首足首につけた重りで曲げ伸ばしの困難さ・動作の重さや平衡感覚の変化、イヤーマフ・ゴーグルで聴力視力の低下などの体験を行いました。体験により、水が飲めなかったり、本や小さい文字が見えない・手すりを使わないと階段昇降が辛い・しんどい・動きづらい、大きい声で話してほしい、の声がありました。

車椅子体験では、基本的な使い方や段差・狭い所での移動の困難さなどの体験となりました。介助者役の生徒は、ゆっくり大きめの声かけや、危険の確認などを行いました。マットなど段差があるところでの移動が大変、乗っている方は怖い・押すドアが難しい、の声がありました。



高齢者疑似体験セット・車椅子は清里町社会福祉協議会で貸出しを行っています。ご利用の方はお気軽にお問い合わせください。